

事務事業名		豊かな海を育む大きな森づくり事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業			
政策体系	政策名	06 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目			
	施策名	27 自然環境の保全				会計	款	項	目
	基本事業名	02 自然環境保全活動の推進				01	06	02	04
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分			
所属	部課名	農林水産部農林課				A 政策事業 B 施設整備			
	課長名	菅原 博幸				C 施設管理 D 補助金等			
	係名	林業係	電話	27-3111	E 一般(A~D以外)				
	担当者	木村 亮	内線	7126					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
恵まれた豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、漁業者・市民ボランティアと市が一体となって広葉樹の植樹活動を行うことにより、森林が有する地球温暖化の防止、水源かん養機能、土砂流出防止機能、川や海への豊富な栄養分の供給などの公益的機能を維持・増進させながら、豊かな海と資源を育む環境づくりを進めるとともに、広く森林への理解と関心を高めてもらう機会とする事業。 主な業務内容 ①植樹場所の選定 ②要領の作成 ③広報等による市民ボランティア募集 ④補助金等申請・請求手続き ⑤植樹場所の下準備作業、苗木購入等に係る契約事務 ⑥使用する物品・車両の調達(購入、借用、返却) ⑦植樹会参加者への案内 ⑧植樹祭の開催 ⑨業務完了確認・報告 事業費は、植樹場所の下準備作業・苗木代・補植の委託料と植樹会に係る消耗品費等に支出される。				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
平成28年11月6日に植樹祭を実施し、0.3haにアオダモ600本、ブナ300本を植樹。		ア	植樹面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	植樹本数
気仙地区植樹祭と合同開催		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
①放置していた市有林		名称	
②漁業者・市民ボランティア等参加者		単位	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ	延べ植樹計画面積
①伐採跡地が広葉樹の森になる。		キ	延べ植樹計画本数
②参加者の森林への理解と関心が高まる。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
海域・河川環境の保全に取り込む。		名称	
		単位	
		サ	事業進捗率 (延べ植樹面積/計画植樹面積)
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	566	673	700	700	700	700
	事業費計(A)		千円	566	673	700	700	700	700
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	1,366	1,473	1,500	1,500	1,500
⑤活動指標		ア	ha	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5	
		イ	本	600	900	1,400	1,900	2,400	
		ウ							
⑥対象指標		カ	ha	13	13	14	14	14	
		キ	本	49,500	50,400	51,800	53,700	56,100	
		ク							
⑦成果指標		サ	%	85	87	90	92	94	
		シ							
		ス							

事務事業ID	0574	事務事業名	豊かな海を育む大きな森づくり事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	三陸町越喜来字小出地内の市有林は、昭和のはじめから家畜の餌となる牧草地として利用されていたが、家畜の減少と放牧地の利用度の高まりにより当地が不要となったことから荒地になっていた。この市有林を植樹活動とともに新たな開発をし、利用することは、越喜来湾に注ぐ浦浜川の水涵養にも繋がっていることから「復興の森」と位置づけ、植樹活動を再開したものである。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	自らの手で植樹することにより、植樹することの意義や森林の持つ公益的機能について、漁業者や市民ボランティア等の参加者の理解が得られ、森林への理解と関心がより高まってきている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	漁業関係者及び市民ボランティア等の参加者から、事業の継続が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 伐採跡地に植樹することにより、森林が有する地球温暖化の防止、水源かん養機能、土砂流出防止機能、川や海への豊富な栄養分の供給などの公益的機能を維持・増進させることから、港湾・河川環境の保全につながる事業である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市有地である伐採跡地を適切に維持・管理するのは市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 本事業により、伐採跡地が適切に整備されるとともに、参加者の森林への理解と関心が高まることになるので、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市民ボランティアの募集にあたり、市の広報や海づくり少年団等への案内など従来の周知方法に加え、大量の水を利用する企業などを訪問し、直接働きかけを行うことによって、より多くの参加が得られるものとする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 本事業を廃止・休止すると、未植栽地から土砂等の流出が予想され、河川・海等への悪影響が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 植樹のほとんどをボランティアで行っていること、また、事業費の大半が植樹場所の下準備作業、苗木代の委託料のため、コスト削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 市民ボランティアの募集、資料作成、会場準備等の一連の作業について効率的に執行しており、これ以上の業務時間の削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業地は市有地で、直接の受益者は市となることから、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
企業への働きかけにより、より多くの参加と山林意識の向上を図る必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	